2023 SBS カップ
第93回全国高校サッカー選手権静岡県大会
SBS CUP
静岡県高等学校体育連盟サッカー専門部

静岡 2学年上相手に「互角以上」

PK戦で屈する

右サイドから決定機演出

関東学園大静岡 2（0-0、2-1）1 静岡学園
【関東学園大静岡】○佐野（2）、○内田（PK3-3）
【静岡学園】○中村（1）

学園大がPK戦の末に静岡を下した。

関東学園大はカウンター主体で攻め、前半19分には前方のネットを揺らしたが、オフサイドの判定。後半、オフサイドの判定。後半、オフサイドを巡り、PKを獲得。PK戦は相手GKが1人退場処分となったが、PKを獲得。PK戦は相手GKが1人退場処分となったが、決定力の一歩だった。

静岡はPK戦の末、関東大学選抜に敗れた。2学年上を相手に優勢な戦いを演じ、健闘が光った。

驚異的な「良い試合だったのではないか思う」と選手たちの奮闘をたたえた。

前線からの守備に圧力をかけ、ボール奪取から攻勢に出た。右サイドバックのDF鈴木が高い位置取りを攻撃の起点とする狙いも現場、右サイドMFに入った高田を中心に小気味良いパス。前の選手に加速を迫いたが、ゴール前で相手の守備ブロックに阻まれて、シュートまでは届かなかった。

前半に迎えた唯一の決定機は、右サイドから生まれた。28分にはペナルティーエリアに進入し右足でシュートを放ったが、左足で蹴り込んだ。

「あともう一歩、ゴールを決めきれない」と悔やむ。

それでもフィジカルや技術で劣ある相手と互角以上に戦い、岩崎は「やれる、という感覚をつかめた」とうなずく。確かな手応えを初戦で得て、日本、韓国の代表勢に挑む。

（市川淳一郎）

きのうの結果

関東学園大静岡 0-0 静岡学園（PK5-3）
韓国 1-0 日本

きょうの試合

関東学園大静岡 16 韓国
静岡学園 18 30日 日本
（各陸上競技場、長崎総合運動場陸上競技場、諫早市総合運動場陸上競技場）

静岡ユースU-20関東大学選抜 前半、鋭さを見せる静岡ユースの高田（中央）＝皇陵総合運動場陵（写真提供・小笠原さん）

日本 韓国に0―1

韓国 1-0 日本
【韓国】○カン・スンヒ
【日本】

日本は韓国に敗れた。

保持して攻撃を仕掛けた。前半終了間際に塩貝が決定機を迎えたが、枠を外した。

相手の攻撃をしのいだ。ボールを奪ってからの攻撃を組み立てたものの、ゴールを狙う選手が、逆手で決めきれず、シュートまでは届かなかった。

後半5分、混戦から失点。

ゴール前で、ゴールを狙う選手が、逆手で決めきれず、シュートまでは届かなかった。

後半5分、混戦から失点。

混戦を本格化させて、押しこんだ。韓国の勝負強さと粘り強さを感じた。日本は攻撃を組み立てて、ゴールを狙ったが、ボールを奪われてしまった。逆手で決めきれず、ゴール前の混戦から決勝点を奪われた。

試合終了間際、最大の機会がやってきた。MF大関のスルーパスを途中出場したFW神田奏真が抜け、右足を振り抜いた。シュートはわずかに枠をそれた。「右足を振り抜いたが、シュートはわずかに枠をそれた。右足を振り抜いたが、シュートはわずかに枠をそれた。」と悔やむ。

後半16分にDF青柳佑介が負傷し、交代を余儀なくされた。

番号3は選手の名前。

静岡、山梨に5―0

女U-16エキシビジョン

女U-16のエキシビジョンマッチで静岡は、山梨を相手に攻撃力を見せつけて山梨選抜に5―0で快勝した。

静岡は、前半、攻撃の起点となる中盤の選手が、ボールを奪ってからの攻撃を組み立てて、ゴールを狙ったが、ボールを奪われてしまった。

次の機会を狙って、2点目を奪うべく、攻撃を組み立てたが、ゴールを狙ったが、ボールを奪われてしまった。

2点目を奪ってからは、攻撃を組み立てて